



SAP Ariba 

機能の概要

オーダー確認の差異の承認を改善

Carla Ruiz, SAP Ariba
一般提供予定: 2022 年 11 月

PUBLIC

THE BEST RUN 

機能の概要

説明: オーダー確認の差異の承認を改善

導入の難易度  ロータッチ/容易
対象エリア  グローバル

今までの課題

オーダー確認の差異の承認プロセスを使用する一部の顧客にとって、承認アクションは更新なしでは意味を成しません。たとえば、バイヤーがオーダー確認で数量の最大許容値を上回り、バイヤーが(更新なしで)差異を承認することを決定した場合、サプライヤは、新しい数量の変更オーダーが受け入れられるまで、承認された数量を出荷することができません。

SAP Ariba で問題解決

顧客が、[管理] > [設定] > [通常設定の取引ルール] ページで、[オーダー確認の差異の承認で許可されているアクション] ルールを [承認]、[承認して更新]、またはその両方に設定して、使用可能な差異の承認アクションを設定できるようになりました。通常の設定では、両方のアクションにチェックが付けられています。アクションは、単一レベルと複数レベルの両方の差異の承認に適用されます。

主なメリット

使用可能な承認アクションの定義をバイヤーに許可することにより、機能の操作性が改善されています。

対象ソリューション

SAP Ariba Supply Chain Collaboration

関連情報

この機能は、該当ソリューションを使用しているすべてのお客様に対して自動的にオンになっており、すぐに使用できます。

前提条件と制限事項

サプライヤのオーダー確認の承認プロセスを有効にするには、バイヤーが [定義された許容範囲を逸脱しているためバイヤーによる承認が必要となるオーダー確認を送信することをサプライヤに許可する] ルールと、その承認プロセスレベルのいずれか (単一レベルの承認プロセスまたは複数レベルの承認プロセス) にチェックを付ける必要があります。

オーダー確認の差異の承認を改善

機能範囲

1. オーダー確認の差異の承認プロセスを使用する一部の顧客にとって、承認アクションは更新なしでは意味を成しません。たとえば、バイヤーがオーダー確認で数量の最大許容値を上回り、バイヤーが(更新なしで) 差異を承認することを決定した場合、サプライヤは、新しい数量の変更オーダーが受け入れられるまで、承認された数量を出荷することができません。

解決策: 顧客が、[管理] > [設定] > [通常設定の取引ルール] ページで、[オーダー確認の差異の承認で許可されているアクション] ルールを [承認]、[承認して更新]、またはその両方に設定して、使用可能な差異の承認アクションを設定できるようになりました。通常の設定では、両方のアクションにチェックが付けられています。アクションは、単一レベルと複数レベルの両方の差異の承認に適用されます。

Allow suppliers to send order confirmations that do not comply with defined tolerances and require buyer approval. ⓘ



Except quantity deviations.

Except delivery date deviations.

Except unit price deviations.

Order confirmation deviation approval level. ⓘ

Single-level deviation approval ▾

Allowed actions for order confirmation deviation approval. ⓘ



Approve.



Approve and update.

オーダー確認の差異の承認を改善 - フェーズ 2

機能範囲

2. 品目の説明は、[オーダー確認承認の注意メッセージ] ページには表示されません。顧客が必ずしも品番に精通しているとは限りません。

解決策: [オーダー確認承認の注意メッセージ] ページに、品目の説明が表示される列が追加されました。

Order confirmation approval alerts

Supplier Part number Purchase order Purchasing group Purchasing org Planner code Orders

All 3 Multiple deviations 0 Date deviation 2 Quantity deviation 1 Price deviation 0 Awaiting ERP approval

Approve Reject

<input type="checkbox"/>	Supplier	Order no.	Confirmation no.	Part no.	Description	Item no.	Location	Requested delivery date	Requested quantity	Confirmed quantity	Unit price	Deviation type
> <input type="checkbox"/>	QUAL02 SCC Supplier Carla	PO.approvalPhase2.02	OC.approvalPhase2.02	AX4518Buy	Hammer	1	Acme	2022-10-19	20 (UN)	30 (UN) ⚠	15 (USD)	Quantity
> <input type="checkbox"/>	QUAL02 SCC Supplier Carla	PO.approvalPhase2.02	OC.approvalPhase2.02	AXSPA001	Saw	2	Acme	2022-10-20	100 (UN)	100 (UN)	30 (USD)	Date
> <input type="checkbox"/>	QUAL02 SCC Supplier Carla	PO.approvalPhase2.02	OC.approvalPhase2.02	AXSPA001	Drill	3	Acme	2022-10-20	150 (PK)	150 (PK)	100 (USD)	Date

オーダー確認の差異の承認を改善 - フェーズ 2

機能範囲

3. 注文書を確認する際、サプライヤが納入日程行を2つ以上の配達に分割することができます。差異が発生し、バイヤーが「承認して更新する」ことを決定した場合、CIGでは、新しい配達用に新しい納入日程行を作成する必要があります。現在、CIGでは、新しい納入日程行の統計上の配達日は、確認内でサプライヤによって提案される配達日として設定されます。顧客は、統計上の配達日が作成元の納入日程行の統計上の配達日と同じであることを示しています。その理由は、サプライヤが当初合意したお届け日数に基づいてサプライヤ実績を測定することを顧客が希望しているためです。

- バイヤーが注文書を送信し、サプライヤが分割を行って確認します (配達日の許容範囲外)。

注文書			明細 1 - 数量 50 個		
SL 番号	数量	配達日	SL 番号	数量	配達日
1	50 個	6 月 20 日	1	25 個	6 月 20 日
			2	25 個	6 月 25 日

- バイヤーが差異を承認し、CIGによりバックエンドシステムで以下の変更がおこなわれます。

注文書			
明細 1			
SL 番号	数量	配達日	統計上の配達日
1	50 個 - 25 個	6 月 20 日	6 月 20 日
2	25 個	6 月 25 日	6 月 25 日

← 新しい行

オーダー確認の差異の承認を改善 - フェーズ 2

機能範囲

解決策: [承認して更新] アクションにより、元の納入日程行が分割され、新しい納入日程行が作成されます。新しい納入日程行の統計上の配達日は、元の納入日程行の統計上の配達日と同じです。

- バイヤーが注文書を送信し、サプライヤが分割を行って確認します (配達日の許容範囲外)。

注文書			明細 1 - 数量 50 個		
SL 番号	数量	配達日	SL 番号	数量	配達日
1	50 個	6 月 20 日	1	25 個	6 月 20 日
			2	25 個	6 月 25 日

- バイヤーが差異を承認し、CIG によりバックエンドシステムで以下の変更がおこなわれます。

注文書			
明細 1			
SL 番号	数量	配達日	統計上の配達日
1	50 個 25 個	6 月 20 日	6 月 20 日
2	25 個	6 月 25 日	6 月 20 日

← 新しい行

フォローをお願いします。



www.sap.com/contactsap

© 2022 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved.

本書のいかなる部分も、SAP SE 又は SAP の関連会社の明示的な許可なくして、いかなる形式でも、いかなる目的にも複製又は伝送することはできません。

本書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。SAP SE 及びその頒布業者によって販売される一部のソフトウェア製品には、他のソフトウェアベンダーの専有ソフトウェアコンポーネントが含まれています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。

これらの文書は、いかなる種類の表明又は保証もなしで、情報提供のみを目的として、SAP SE 又はその関連会社によって提供され、SAP 又はその関連会社は、これら文書に関する誤記脱落等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP 又はその関連会社の製品及びサービスに対する唯一の保証は、当該製品及びサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。

特に、SAP SE 又はその関連会社は、本書若しくは関連の提示物に記載される業務を遂行する、又はそこに記述される機能を開発若しくはリリースする義務を負いません。本書、関連プレゼンテーション、および SAP SE またはその関連会社の方針および予定されている将来の開発、製品、またはプラットフォームの方向性および機能は、すべて変更される可能性があり、SAP SE またはその関連会社は随時、理由の如何を問わずに事前の予告なく変更できるものとします。本書に記載する情報は、何らかの具体物、コード、若しくは機能を提供するという確約、約束、又は法的義務には当たりません。将来の見通しに関する記述はすべて、さまざまなリスクや不確定要素を伴うものであり、実際の結果は、予測とは大きく異なるものとなる可能性があります。読者は、これらの将来の見通しに関する記述に過剰に依存しないよう注意が求められ、購入の決定を行う際にはこれらに依拠するべきではありません。

本書に記載される SAP 及びその他の SAP の製品やサービス、並びにそれらの個々のロゴは、ドイツ及びその他の国における SAP SE (又は SAP の関連会社) の商標若しくは登録商標です。本書に記載されたその他すべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。

商標に関する詳細の情報や通知に関しては、www.sap.com/copyright をご覧ください。